

キューバ友好フォーラム 2013

気になるキューバ その最新事情

共催 キューバ友好円卓会議／アジア・アフリカ人民連帯日本委員会

6月29日(土)
14:00~16:45

会場：豊島勤労福祉会館 第3・第4会議室

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 2-37-4 TEL 03-3980-3131

池袋駅南口下車徒歩約7分(隣が消防署) ※車でのご来館はご遠慮ください。

孤独死もいじめもない 共産国・キューバ

1938年北海道生まれ。1961年、東京大学教養学部卒業、朝日新聞社入社。経済部員を経て1982年より論説委員、1985年より編集委員。1998年退職後、地球市民ジャーナリスト工房を設立。1999年12月、アジアのニュースと主張を英語で世界に送るテレビ局「チャンネルJ」創設とともに代表取締役常務就任。日本ビデオ・ジャーナリスト協会事務局長兼務。著書に『この国の処方箋』『新しい国の形』(ウェッジ)、『国富みて民貧し』(徳間書店)など多数



講師 **早房長治さん**
地球市民ジャーナリスト
工房代表

キューバ・改革の現状と展望

東京外国語大学スペイン語学科卒業。専門はスペイン語、ラテンアメリカ現代史。2012年に神奈川大学外国語学部教授を退官し、名誉教授に。著書に『キューバを知るための52章』『新現代のラテンアメリカ』『キューバは今』『ラテンアメリカの女性群像』など。『エルネスト・チェ・ゲバラ伝』『カストロ革命を語る』『ホセ・マルティ選集』『戒厳令下チリ潜入記』等、現代ラテンアメリカに関する訳書も多数。



講師 **後藤政子さん**
神奈川大学名誉教授

参加費 1000円 ★事前申し込みは必要ありません。

問合せ キューバ友好円卓会議

〒157-0073 東京都世田谷区砧 8-15-14-101

FAX 03 - 3415 - 9292

e-mail : cuba.entaku.0803@gmail.com

支倉常長キューバ訪問400周年

日本人のキューバ移住115周年

モンカダ兵舎襲撃・革命記念日60周年

★記念イベント★

7月27日(土) キューバフェスティバル

於：埼玉県・坂戸市市民会館 ☎049-282-0100

※フォーラム会場で前売り券を販売します

※詳細は、同封のチラシをご参照ください

会場MAP



★入会(年会費3000円)、カンパ随時受付中★

※住所・氏名・電話・メールアドレスを明記の上、下記にご入金ください。

郵便振替 00100-9-499950 加入者名 キューバ友好円卓会議

2012年12月8日 東京のラテン文化交流の拠点で開催

ひと夜限りのキューバンナイト “キューバー一番搾り”

2012年も終わらんとする12月の凍える宵、キューバが世界に誇り、世界のキューバ好きのかなりの割合の人々がラムやシガーとともに酔いしれる、キューバンサルサを、東京のラテン文化交流の拠点で味わってみようという、いつものキューバ友好円卓会議主催のフォーラムとはひと味違ったイベントが、まさかの実現とあいなりました。

昨年キューバとしては異例の死亡者がでた、ハリケーンサンディー復興支援も兼ねた趣旨で、メキシコ人外交官の邸宅を夫人が開放され、ラテン芸術や文学を通じての友好とネットワーキングの場とされている、カフェ・イ・リブロスの運営には、元キューバ大使館勤務で現在スペイン語通訳・翻訳家の富田君子さんが関わっておられ、キューバのアーティストのイベントも行われていることから、今回のイベント会場とさせていただくことができました。



キューバンミュージックのプチライブとHIRO&YORIKOの華やかなパフォーマンス (上2枚の写真提供小池友美)

いつもとは一味違ったフォーラム

キューバ友好円卓会議事務局メンバー
芳賀法子

キューバを観て、聴いて、味わって、踊って

題して、「ひと夜限りのキューバンナイト、“キューバー一番搾り”」。夏にサルサ研修でキューバに生徒さんを引率された、キューバの心をダンスを通じて体現するペア、東京キューバンサルサのインストラクター、HIRO&YORIKOをお迎えしました。YORIKOさんは青年海外協力隊として中南米に滞在され、おふたりともキューバで数年間のダンス留学のご経験があります。

今回は、研修旅行中の最新のキューバ画像をみながらのトークに加え、キューバンミュージックのプチライブ演奏、ペア・パフォーマンス、ミニレッスンの後、



受付にはハリケーン復興支援のカンパ箱

まったく初めてでも楽しめる、サルサパーティを五感を通じて楽しもうと、円卓メンバーお手製の、モヒート、キューバリブレ、キューバンコーヒーを片手に、参加者のみなさんに寛いでいただきながら、ここだけカリブの風がふいている、別天地が出現しました。

みなさん思い思いに、テーブルを囲んで談笑いただく中、YORIKOさんが華やかな笑顔をふりまいて登壇され、本場のキューバ伝統舞踊の数々や、ハバナの個人宅でのパーティやサルサレッスンの様子を画像で紹介いただきながら、芸術分野の振興を経済復興や国際社会とのチャンネルにしていこうとする、キューバの今後の方向性が見え隠れする、未来志向のお話を伺いました。

なお、今年は円卓会議でもキューバツアーを企画することから、これをきっかけに、キューバに興味をもつていただく方が増えると、キューバとの友好が多面的に広がりがつつも、さらに深まるきっかけになると素敵なこと



会場の確保など、協力いただいた富田君子さん(左)。右は筆者



写真左上 2012年夏にキューバへサルサ研修
に出かけたYORIKOさんのトーク
写真左下と中央 HIRO&YORIKOのパフォー
マンス
写真右上 会場のカフェ・イ・リブロス

参加者全員でサルサのミニレッスン

だと感じました。

お話しもそこに、キューバンミュージック・ライブが始まると、会場はいっきに華やぎます。サルサ未経験者も、ベテランも、YORIKOさんの絶妙のリードで、隣の方をパートナーにペアを組んで、ところ狭しと寒さを忘れ、ベーシックステップを踏み、キューバ気分が盛り上がります。

クライマックスでは、HIRO&YORIKOの華やかなパフォーマンスが披露され、一同息をのんで見守るばかり。サルサはキューバの盆踊り。老若男女それぞれ

が楽しめるけれど、何と奥が深いことか。

キューバを観て聴いて味わって踊って……ますます深く、そして幅広くキューバを知り、それぞれの友好を広げていければと、今回は違ったアングルから体感いただけましたら、何よりの喜びです。

ご参加いただいたみなさまからは、ぜひご感想をうかがえると嬉しく存じます。また今後とも、キューバ友好円卓会議フォーラム企画へのご助言ご提案をいただき、盛り上げていければと思います。

キューバにハリケーン被災見舞金を贈る



2012年10月、キューバ東部がハリケーン「サンディ」に襲われ、甚大な被害がでました。このため、キューバ円卓会議は会員に救援カンパを呼びかけたところ、これまでに20万4180円が寄せられました。

このうち20万円を、さる4月22日、岩垂弘共同代表と大賀達雄事務局長がキューバ大使館へ出向き、マルコス・ロドリゲス大使に手渡しました。大使は「円卓会議の皆さんに感謝する。必ず被災地の人びとに届けます」と謝意を述べました。

マルコス・ロドリゲス大使に見舞金を手渡す岩垂弘共同代表

設立10周年迎える円卓会議

キューバの実情紹介に多彩なイベントを展開

キューバ友好円卓会議は2003年9月27日に東京で設立されました。設立の中心になったのは、1998年にキューバを訪問した労働運動家、生活協同組合役員、学者、ジャーナリストらでした。いくつかの団体と個人がこれに加盟しました。

キューバ友好円卓会議設立の目的は「キューバとの友好促進」と「キューバに関する情報交換と情報の発信」でした。というのは、まず、日本国民の間でキューバに対する関心が高いにもかかわらず、日本から遠く離れた国であるため、この国に関する情報が極めて乏しかったからです。

それに、それまではキューバに関する情報は米国経由でもたらされるものが圧倒的に多かったため、キューバの実情が日本に正確に伝わりにくいという事情がありました。だから、キューバに関する情報をできるだけ正確に、それも直に日本国民に伝えようというのが、円卓会議設立の中心になったメンバーの狙いでした。

以来、そうした目標を実現するために、円卓会議は年に1～2回、イベント（フォーラム、シンポジウム、講演会など）を主として東京で開催してきました。

現在、個人会員は120人を数えます。主な団体会員は、パルシステム生活協同組合連合会（組合員134万人、本部・東京）、国際交流NGOピースポート（本部・東京）、キューバに自転車を送る会、キューバに鍼を送る会など。このほか、会報「サルー！」の読者が約600人おります。これまで円卓会議の運営にかかった費用は、会費やイベント参加費によってまかなわれてきました。

10年間の主な活動

★は写真参照

2003年9月27日（明治大学）★

キューバ友好円卓会議設立総会

オランダ・エルナンデス大使とエルミニオ・ロペス参事官を迎えて

03-9-27

左から挨拶するオランダ大使、通訳の山中道子さん、エルミニオ参事官



2004年11月14日（日本教育会館）★

革命45年/外交関係樹立75周年・キューバ友好フォーラム
「有機農業・医療・教育で世界のトップを行く

カリブの奇跡 キューバ」

伊藤千尋、加藤登紀子、吉田太郎さんらのトーク&
中村とうようさんのトークとレコードコンサート



04-11-14

左から伊藤千尋さん、加藤登紀子さん、吉田太郎さん、遠藤ひろみさん
下は案内チラシ



2005年7月16日 キューバ友好フォーラム（日本教育会館）★

「フィデル・カストロを語る」元キューバ大使・田中三郎さん

同9月11日 キューバ友好フォーラム（パルシステム連合会）

「ラテンアメリカの地殻変動とキューバ」伊高浩昭さん
「キューバから見た世界」元キューバ大使・馬淵睦夫さん
「キューバ友好団体の現状報告」



05-7-16 田中三郎さん

同11月20日 キューバ友好フォーラム（パルシステム連合会）

「持続可能な農業の世界のうねり」吉田太郎さん

06-11-25 アルレニスさん（右）と通訳の星野弥生さん



2006年9月9日 キューバ友好プレフォーラム

（パルシステム連合会）

「キューバの医療国際人道支援のあり方」

エルミニオ・ロペス・キューバ大使館参事官

同11月25日 キューバ友好フォーラム（明治大学）★

「医療先進国の知られざる国際人道支援活動」

～キューバの女医アルレニス・パロツィ・ベレスさんを迎えて～



06-11-25 パネリスト。左から天明佳臣さん、松本文六さん、関野吉晴さん、加茂雄三さん

講演と天明佳臣、松本文六、関野吉晴、加茂雄三さんのトークセッション。
ほかにキューバを訪問した慶應義塾大学医学生の報告など。

同 12 月 2 日 (北沢タウンホール) ★

「ふたつの未来 遺伝子組み換えか? 有機農業か」

映画上映とアルレニス、吉田太郎さんのトーク
ドキュメンタリー映画『サルー! ハバナ ~キューバ都市農業リポート~』と
『食の未来』上映 (日本有機農業研究会科学部と共催)

2007 年 9 月 29 日 キューバ友好プレフォーラム(パルシステム連合会)

「キューバ、ベネズエラ、ボリビアの 連帯と『民衆の間の貿易協定』」

エルミニオ・ロペス・キューバ大使館参事官の講演

同 10 月 13 日 キューバ友好フォーラム (明治大学)

「ラテンアメリカの地殻変動 ~急速に進む脱アメリカの潮流~」

加茂雄三、富山栄子、所康弘さんらの講演。

2008 年 1 月 26 日 (東大医科学研究所)

キューバ医療に関する講演会/ツアー説明会
「世界がキューバ医療を手本にするわけ」吉田太郎さん講演

同 2 月 8 日~16 日 キューバ医療見学ツアー実施★

「キューバ医療を見学する旅」

医療関係者を中心に 35 名の旅。
保健省の専門家による「キューバの保健システム及び精神保健システム」の講義。ファミリードクターの診療所、ポリクリニコ、老人病院、
伝統医療研究センター、熱帯医学研究施設「フィンレイ研究所」、ラ
テンアメリカ医科大学、老人サークルなどを見学。
※16 日~21 日 オプションツアー参加者はサンタクララ、トリニダ、
サンチャゴ・デ・クーバへ。

同 5 月 17 日 キューバ友好フォーラム (明治大学) ★

午前中はドキュメント映画『チェ・ゲバラ最期の時』と『チェ・ゲ
バラ英雄の素顔』を上映。
午後は初来日のチェ・ゲバラの長女で小児科医のアレイダ・ゲバラさん
を迎えて
「アレイダさんが語る 父チェ・ゲバラのこと、キューバ
の医療のこと」 & 「阿部知子さんと語る 子どもたちの未来」
コーディネーターに伊高浩昭さん

2009 年 1 月 24 日 (なかの ZERO 小ホール) ★

キューバ革命 50 年・ゲバラ生誕 80 年記念キューバ友好フォーラム
「知られざる豊かな国

~キューバを通じて見えてくる世界~

第 1 部 = 白根全、工藤律子、吉田太郎、戸井十月さんらの講演
第 2 部 = アントニオ・古賀、アレキサンダー・ラポルデ・パドロンさ
んらのギター演奏と歌。ヨスベル・シスカルド・ヒメネスと郷田優気
さんらのサルサ。

同 11 月 29 日 キューバ友好フォーラム (パルシステム連合会)

「見て聴いて キューバ最新事情 08~09 年 キューバ体験者大いに語る」



06・12・2 満席の上映会場



『サルー! ハバナ』の井坂泰成監督
の挨拶



革命広場で



ラテンアメリカ医科大学を見学



08・5・17



↑会場に入りきれなかつた人のために急遽、第2会場を設定。講演をTVモニターで中継



立ち見も出た会場

伊高浩昭、若森資朗、志賀直輝、大森ちえさんらの講演。
芳賀法子さんと息子たち、内田舞、森澤具範さんらのト
ークセッション。

2010年7月10日 キューバ友好フォーラム
(パルシステム連合会新大塚分室)

「キューバの過去・現在・未来」

来日のジャーナリスト、ルイス・バエスさんの講演。

同12月11日 キューバ友好フォーラム
(パルシステム連合会)

「2010 キューバ最新事情」

工藤律子、松村真澄さん、ピースボート乗船者。

2011年8月3日 キューバ友好フォーラム★
(日本青年館)

「キューバはエネルギー危機を
どう乗り越えたのか」

来日3度目のアレイダ・ゲバラさんを迎えて
富山栄子さんが聞く。
吉田太郎さんの講演と和田剛さんの写真&トーク。

2012年3月11日 キューバ友好フォーラム
(世田谷ボランティアセンター)

「キューバのいま
初訪問者の目にどう映ったか」

早房長治、大友一紀さんら。

同12月8日 キューバ友好フォーラム
(カフェ・イ・リブロス)

「キューバトーク&サルサレッスン&
パフォーマンス」

Hiro&Yoriko ※本紙2~3ページご参照



09-1-24 なかのZERO小ホール



アントニオ・古賀さん



09-1-24 「革命から50年。この間、キューバはアメリカの圧力に屈しませんでした」とホセ・フェルナンデス・デ・コシーオ駐日キューバ大使の挨拶



来日3度目のアレイダ・ゲバラさんと富山栄子さん(左)



吉田太郎さん

キューバ関連情報

キューバを巡る二つの国際会議

ICAP (キューバ諸国民友好協会) によると、第7回キューバ連帯アジア太平洋会議が今年の10月から11月にかけてベトナムで、第3回キューバ連帯世界会議が、2014年10月27日から31日までキューバのハバナで開催されるとのことです。ご興味、ご関心のある方はキューバ大使館までお問い合わせください。(電話 03-5570-3182)

BOOK紹介

「防災大国」キューバに世界が注視するわけ



風速300キロのハリケーンでも死者が出ない国、人間と暮らしを重視し、分散型自然再生エネルギー社会へとシフトするキューバの「防災力のある社会」づくりの秘密を解き明かす。

吉田太郎さんの「キューバのわけ本」シリーズの第5作目。中村八郎 NPO法人くらしの安全安心サポーター一理事長との共著

2400円+税/築地書館/2011年11月発行

アレイダ・ゲバラさんがつないだ 佐久総合病院と画家・出町千鶴子さん

今年も病院祭(5-18)で子どもたちと
「お絵かきイベント」を開催♪



2008年に初来日されたアレイダ・ゲバラさんを長野県の佐久総合病院にご案内したのがきっかけで始まった、円卓会議の事務局メンバーで画家の出町千鶴子さんと佐久総合病院小児科のみなさんとの交流です。今年の絵のテーマは「虹」でした。

収	前年度繰越金	1,027,078	支	通信費	117,390
	会費	255,000		印刷・事務費	7,805
	寄付	41,154		会場使用料	13,200
	フォーラム参加費	54,500		講師等謝礼	80,000
	物販収入	23,600		雑費	38,925
	利息	129		振込手数料	80
	ハリケーンカンパ	181,180			
	計	555,563		計	257,400
入	合計	1,582,641	合計	257,400	
	※2012 年度繰越金	1,325,241			

※繰越金にはハリケーンカンパ予備費としての預かり金 200,180 円が含まれます。

※2013 年 4 月 22 日、キューバ大使館にてハリケーンカンパ 20 万円をマルコス・ロドリゲス大使に手渡しました。
(本紙 3 ページに報告)

事務局メンバーが ICAP 副総裁らと懇談

キューバ友好円卓会議の事務局メンバー 8 人が、5 月 22 日、都内で、来日中のアリシア・コレデラ ICAP (キューバ諸国民友好協会) 副総裁、米国で投獄中の 4 人のキューバ人 (投獄されていたのは 5 人だったが、最近 1 人が釈放) の 1 人、ラモン・ラバニニョ氏の妻、エリザベス・パルメイロさん、それに駐日キューバ大使のマルコス・ロドリゲス氏らと懇談した。

アリシア副総裁とパルメイロさんは、5 人のキューバ人の早期釈放を国際社会に訴える活動の一環として来日したもので、日本滞在中、国会議員、法曹関係者、メディア関係者、キューバとの友好を目指す団体などを歴訪し、「4 人」の釈放運動への協力を求めた。

5 人の容疑は陰謀罪、スパイ罪で、15 年前に逮捕された。5 人は不当な拘束と主張したが、裁判で終身刑～15 年の刑が確定している。パルメイロさんは「家族は老いつつあり、1 日も早い釈放を願っている。いまや、オバマ米大統領に恩赦で釈放してもらう以外にない。オバマ大統領宛てに恩赦を要請するハガキを出してほしい」と訴えた。

5 月 31 日～6 月 5 日、アメリカのワシントン DC で「5 人のキューバ人のための 5 日間」というキャンペーンが展開され、音楽イベント、芸術展示、会議、ロビー活動など多彩な活動が行われる。オバマ大統領に恩赦を要請するハガキ



前列右から駐日キューバ大使
マルコス・ロドリゲスさん、エリザベス・
パルメイロさん、ICAP 副総裁アリシア・
コレデラさん

キューバに自転車を送る会から
のハリケーンカンパを贈る会から
玲子さん



深く強い痛みをもって、我が国の国民と革命政府はウゴ・ラファエル・チャベス・フリヤス大統領の逝去を知った。そして「我らがアメリカ」の大人物として歴史に入る彼に、心からの愛国的な敬意を表する準備をしている。

彼の両親、兄弟、息子、娘に、そして全ての遺族に心からの哀悼の意を表す。彼らはすでに我々の家族でもある。チャベスはキューバの息子でもあり、ラテンアメリカの、カリブの、そして世界の息子でもあるのだから。

この深い悲しみのとき、我々は兄弟のベネズエラ国民と最も深い連帯の感情を共有する。我々はこれからも全ての状況下で彼らと共にいるであろう。

ボリバル革命は、この困難なとき、我々の断固とした無限の支援を受けるだろう。ボリバル政治軍事指導部とベネズエラ政府の仲間達にたいし、重ねて我々の支援と激励、勝利の確信を伝える。

チャベス大統領は、その若く豊富な人生を通じて、素晴らしい闘いの主役となった。我々は彼のことを、ベネズエラと「大祖国」に奉仕した愛国的軍人として永遠に記憶するであろう。正直で聡明、大胆で勇敢な革命戦士として、また、ボリバルが完成できなかったことを完成するためにボリバルの再来となった最高指導者、最高司令官として、さらに、「我らがアメリカ」の諸国民のためのボリバル同盟とラテンアメリカ・カリブ国家共同体の創立者として、永遠に記憶されるであろう。

彼の英雄的で決然とした死との闘いは、揺るぎなさの最高の模範例であった。医師団と看護婦達の称賛すべき献身的努力は、人道主義と献身の偉業であった。

彼が深く望んだ祖国ベネズエラへの帰国は歴史を変えた。「我々には祖国がある」、去る12月8日、チャベスは感動をこめてこう叫んだ。そして、祖国に帰り、病気がもたらす最大の危険に立ち向かった。何物もまた誰もベネズエラ国民から、救われた祖国を奪い取ることはできないだろう。

チャベスの全ての業績は我々の前に不敗の存在である。2002年4月のクーデターから彼を救い、躊躇することなく彼に従ったベネズエラ国民の成果はもはや後戻りできない。

キューバ国民は彼を自分らの最も優秀な息子の1人として感じ、彼を賛美し自分ら自身のもので従い、愛した。チャベスはキューバ人でもあったのだ！我々の困難と問題を自分の血肉で感じ、特に「特別期」の困難な年月、異例の寛大さをもって、出来る限りのことをしてくれた。フィデルには真の息子のように同行し、ラウルとの友情は深いものだった。

彼は、帝国主義に反対する国際的な闘いの場で際立ち、常に貧しい人々、労働者、我々が諸国民を守る立場に立った。情熱的に、説得力をもって、雄弁に、巧妙に、感情をこめて、諸国民の奥深くから語り、我々の喜びを歌い、永遠の楽天性をもって我々の情熱的な詩を詠った。

ベネズエラで働く何万人ものキューバ人は、国際主義任務の熱心な遂行をもって彼に敬意を表するであろう。そして、引き続き誇りと献身をもって、ベネズエラ国民の偉業とともに歩み続けるであろう。

キューバは、チャベス大統領の記憶と遺産に永遠に忠実であり続ける。また、革命勢力の団結と「我らがアメリカ」の統合と独立という彼の理想を追求する。

これからの闘いの中で、彼の模範は我々を導いてくれるものとなるだろう。

最後の勝利の日まで！



**2014年 キューバ友好円卓会議主催のキューバツアーを実施する予定です
企画が決まり次第、本紙でお知らせします。
乞う ご期待！！**